



NEWS LETTER

男女共同参画の
推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画室ニュースレター

Vol.2

発行

名古屋市立大学男女共同参画室 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL:052-853-8577 / FAX:052-853-8588 / E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL:http://www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/

EVENT

名古屋市立大学男女共同参画フォーラム

名古屋市立大学では男女共同参画室が平成20年に設置され、研究・教育・就業と家庭生活の両立支援、女性研究者や職員を積極的に登用するための措置、ハラスメント対策など様々な取り組みを行ってきました。また昨年は、女性研究者支援室も設置されました。しかしながら、本学の取り組みはまだ不十分な点も多く、今後さらなる改善が望まれます。

名古屋市立大学男女共同参画室と女性研究者支援室は、日本において男女共同参画の推進を積極的に行っている大学、行政、企業などから著名な演者を招聘し、2012年3月16日(金)に名古屋市立大学男女共同参画フォーラムを開催することとなりました。本フォーラムを通して、名古屋市立大学の構成員すべてが自分の能力を十二分に発揮し活躍できるようになる「きっかけ」を見つけていただければと思います。

多様性のあるゆたかな社会をめざして —大学で男女共同参画を考える—

【日時】

2012年3月16日(金)
13:30~16:55

【場所】

名古屋市立大学病院
病棟・中央診療棟3階大ホール

【参加費】

無料 (ただし事前登録必要。託児あり)

フォーラム参加ご希望の方は、お名前、ご所属、ご連絡先、託児所利用、懇親会参加の有無を、以下のFAXかメールにてご連絡ください。
(託児のみ2月29日締切とさせていただきます)

問合せ先 FAX:052-853-8588
✉:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

【プログラム】

13:30~13:40

開会挨拶・公立大学法人名古屋市立大学男女共同参画宣言
(戸辺創・名古屋市立大学学長)

13:40~14:25

基調講演「なぜ『大学における男女共同参画』なのか」
(江原由美子・首都大学東京副学長)

14:35~14:55

名古屋市立大学の現状と展望
(北川眞理子・名古屋市立大学男女共同参画室長)

14:55~15:40

パネリスト報告
・行政から(佐藤みどり・名古屋市総務局男女平等参画推進室)
・企業から(吉田敏宏・株式会社京都銀行)
・大学から(三浦有紀子・東京大学男女共同参画室)

15:50~16:50 パネル・ディスカッション

16:50~16:55

閉会挨拶(今川正良・名古屋市立大学副学長)

17:30~

懇親会 サクラサイドテラス(参加費:2000円)

LECTURE

平成24年度教養教育・新規開講科目のご紹介

科目名: 特色科目13 「男女共同参画社会をめざして」

【開講期間・開講時間割】前期・木曜日1限(9:00~10:30)

【学年配当】1~4年 【単位数】2単位

【授業計画】

- I. 本講義新規開講にあたって
第1回「我が国における男女共同参画の推進の意義および本学の取り組みについて」(男女共同参画室長、他)
- II. 多様な働き方とジェンダー ～ワーク・ライフ・バランスを考える～
第2~4回「日本社会における労働とジェンダー構造、若い世代の仕事とジェンダー」(佐藤洋子・女性研究者支援室)
第5回「学生の就職・雇用とジェンダー」(重原惇子・NPO参画プラネット)
第6~7回「名古屋市をはじめとする自治体および女性関連施設を担うNPOの具体的活動」(伊藤静香・NPO参画プラネット)
- III. 若い世代の性とジェンダー ～セクシュアリティを考える～
第8~11回「セクシュアリティ、エイズとジェンダー」(新ヶ江章友・男女共同参画室)、
第12~15回「性同一性障害、性的マイノリティの権利」(安間優希・NPO Proud Life)

ジェンダー教育を推進するために、名古屋市立大学男女共同参画室がプロデュースする教養教育・新規開講科目「男女共同参画社会をめざして」が、平成24年4月から始まります。ジェンダー教育においては、本来、総合的・複合的な知見が求められますが、本講義では多様な講師によって学問横断的に学ぶことにより、ジェンダーについての基本だけではなく、ジェンダー・センシティブな思考を身につけ、男女共同参画社会の実現をめざして実践していくことができる能力を養います。他大学にはないユニークな内容となっておりますので、ぜひともご参加ください。

MESSAGE

名市大の男女共同参画の推進に古くから関わっている、黒野智恵子室員(医学研究科)からメッセージをいただきました。

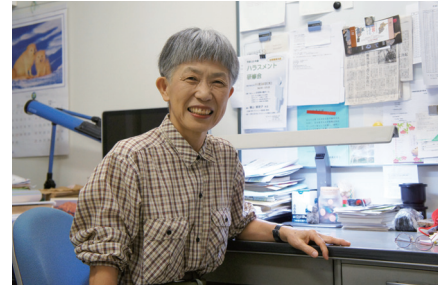
本学の男女共同参画室は2008年(平成20年)に開設されました。1999年の男女共同参画社会基本法施行からちょうど10年目で、2000年には先進する国立大学で開設されておりますのでかなり遅れをとりました。

こどもの頃から女性差別を感じていた私は、法施行後すぐに男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法を説いた本を手に入れ、医学部助手会のセミナーで医学部構成員の男女比などと共にこれらの法の解説をしていました。その後2006、2007年と2年に亘って特別研究奨励費(学長裁量費)を申請、獲得し、本学構成員にアンケート調査をした結果を「名古屋市立大学における男女共同参画推進の条件整備に関する調査結果報告書」としてまとめ、2007年3月、2008年3月(その2)に

発行しました。同時に男女共同参画室の設置を学長に提言しました。

2008年11月に室員を拝命し、これまでの私の個人的活動は大学の男女共同参画室の活動に変わっていくことになりました。当初は予算ゼロでしたので、北川室長のもと議論あるのみでした。やっと予算がついて参画室の活動ができるようになったのは2010年8月、プロジェクト推進員に佐藤洋子さんを迎えてからでした。2011年には文科省の女性研究者研究活動支援事業に採択され、女性研究者支援室も立ち上げました。

本学に男女共同参画が定着しますよう、また広くは日本の男女共同参画社会が実現しますよう、願いを込めて、いよいよ本格的に活動していきます。



黒野先生の思いとともに、今後も本学の男女共同参画の推進に取り組んでいきたいと思っております。「名古屋市立大学における男女共同参画推進の条件整備に関する調査結果報告書」は各キャンパスの図書館と男女共同参画室に置かれています。興味のある方はぜひご覧ください。

ACTIVITY

女性研究者支援室より

女性研究者支援室を設置しました

文部科学省平成23年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に選定されたことを受け、本学の女性研究者支援を推進するために、女性研究者支援室を設置しました。「平成25年度までに女性教員比率24%」の達成目標に向けて、(1)女性研究者が研究に専念できる体制の整備、(2)保育環境の整備、(3)意識改革、(4)女性研究者の育成、(5)ポジティブ・アクションの取組み強化、に取り組んでいきます。

2012年1月現在、本学の女性教員比率(専任)は19.1%です。

【室長】	北川真理子(看護学部・教授)
【室員】	黒野智恵子(医学研究科・助教)
	菊池千草(薬学研究科・講師)
	山本陽子(経済学研究科・准教授)
	天谷祐子(人間文化研究科・准教授)
	藤井尚子(芸術工学研究科・准教授)
	堀田法子(看護学部・教授)
	鎌田直子(システム自然科学研究科・准教授)
	佐藤洋子(女性研究者支援室・特任助教)
	新ヶ江章友(男女共同参画室・プロジェクト推進員)

【事務補助員】 山田二生

「研究支援員制度」はじめました

出産・育児・介護などにより研究時間の限られた女性研究者^{*}の研究活動を支援するため研究支援員を配置する「研究支援員制度」を始めました。(※配偶者が大学等の研究者である男性研究者も対象となります)

現在、平成24年度前期「研究支援員制度」の申請を行っています。対象となる方はぜひご応募ください。

【募集期間】平成24年1月20日(金)～2月29日(水)

【対象者】本学に在籍する女性研究者または配偶者が大学等の研究者である男性研究者のうち、以下に該当する者

- (1)妊娠中または小学校6年生までの子を育児している者
- (2)家族・親族の介護・看護をしている者

【募集人数】10名程度

【提出先】女性研究者支援室(担当:山田・佐藤)

ベビーシッタークーポン制度はじめました

仕事と子育ての両立支援として、(財)子ども未来財団が実施する「ベビーシッター育児支援事業」によるベビーシッタークーポン制度を開始しました。平成23年度の申請期間は2月13日までとなりますが、平成24年4月1日以降についても継続する予定です。

詳しくは総務課人事係(853-8062)までお問合せください

REPORT

イベント報告

女性のための護身術「Wen-Do講習会」2011年12月9日・10日

UN Women日本国内委員会「エイボン・女性のエンパワメント基金」の助成による「女性のための護身術・Wen-Do講習会」を開催しました。多くの参加者はWen-Do初体験でしたが、女性に対する暴力や自分の身を守る方法について学ぶことができました。

ハラスメント研修会

2011年11月24日

広島大学ハラスメント相談室教授の横山美栄子さんを講師に研修会を実施しました。当日は4キャンパス合計143名の教職員が出席し、大学におけるハラスメントの防止と対策について熱心に話を聞いていました。